

大会関係者 各位

一般社団法人岩手県バスケットボール協会
競技運営部会 県総合運営委員会

第75回岩手県男女総合バスケットボール選手権大会
第96回天皇杯・第87回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会予選岩手県代表決定戦
感染予防対策ガイドライン

1. はじめに

一般社団法人岩手県バスケットボール協会競技運営部会県総合運営委員会では、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言が解除された現在、第75回岩手県男女総合バスケットボール選手権大会・第96回天皇杯・第87回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会予選岩手県代表決定戦を開催する前提で準備を進めて参りました。

現在の所、幸いにも岩手県では感染発症者が出ていませんが、全国的には感染発症者が減少傾向にあるとはいえまだまだ予断を許さない状況にあります。そのことを念頭に、5月14日付け公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会発表の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や公益財団法人日本バスケットボール協会の「活動再開ガイドライン」を始め、様々な機関の指針に基づきながら、また、バスケットボールの競技特性や岩手県内の状況を踏まえ、本ガイドラインを作成致しました。

今年度、様々な規模の大会が中止となり残念な思いを抱えているチーム・選手の皆様が、バスケットボールに取り組める環境を提供できるよう努めて参ります。

つきましては、大会運営役員・チーム関係者の皆様にも、本ガイドラインに沿い、感染防止に努めていただきたいと思ます。

2. 大会運営での対応策

大会運営にあたり下記①～⑩でポイント感染防止に努めます。

① 来場前

- ・【重要】倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は会場に来場しないこと。

② 会場入口

- ・体温が37.5度以上の方は、入場できない。医療機関への受診を案内する。
- ・消毒用アルコールを設置し、入場者は必ず手指消毒をする。
- ・入場の際、マスクの着用は必須とする。
- ・外靴は試合会場に持ち込まないよう入り口付近に外靴置き場を設置する。

③ チーム受付

- ・チームの代表者は、必要事項を記入した用紙を提出する。(様式JBA)

④ 観客席の利用について

- ・チーム毎に場所を指定する。
- ・密接な状況にならないよう座る場合は、隣と3つ席を空けること。
- ・マスクの着用は必須とする。

⑤ トイレの利用について

- ・布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。

- ・消毒用アルコール、ペーパータオル、ゴミ袋の設置。
 - ・個室ではトイレの蓋を閉めて水を流すこととする。
 - ・飲食物をトイレに廃棄しないこととする。
 - ・注意喚起・意識付けの表示を設置。
- ⑥ 更衣室・シャワー等の利用について
- ローテーションを組み、全身を洗えるようにする。
- ⑦ 競技について
- ・各ベンチ、オフィシャルズテーブルに消毒用アルコールを設置する。
 - ・選手、スタッフ、審判、TO、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
 - ・タオル・ドリンク類は共用しないこととする。
 - ・オフィシャルズテーブルに座る場合は、マスクを着用する。
 - ・運営スタッフは試合前後で、椅子や机の消毒・除菌を行う。
- ⑧ 閉会式・表彰式
- ・準決勝終了後、男女決勝終了後、短時間で簡素な形で行う。
- ⑨ 試合終了後
- ・コートに降りた関係者は、手指の消毒・洗浄を徹底する。加えて、出場した選手は、顔・身体を洗うようにする。
 - ・試合終了後、できるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。
- ⑩ その他
- ・運営スタッフが会場内の消毒・除菌を行う。多数の関係者が触れるドアノブ、テーブル、椅子などは特に消毒・除菌を徹底する。
 - ・常時開放できる窓、ドアなどは開放し換気に努める。
 - ・来場者は出したゴミは持ち帰り、会場のゴミ箱は使用しない。(表示、アナウンス)

3. 参加する選手

参加する選手に向けて下記の事項①～②を厳守していただくよう事前に周知する。

下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

① 大会参加前の体調管理の徹底

【重要】 咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

スタッフ等関係者においても同様とする。

大会前2週間において以下の項目にあてはまる方は参加しない。

◇平熱を超える発熱

◇咳、のどの痛みなどの風邪症状

◇だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)

◇嗅覚、味覚の異常

◇身体が重く感じる、疲れやすいなどの症状

◇同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

◇過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること(本来であれば、エン

トリー後の棄権は処罰等の審議対象となる)。

また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には大会実施委員会担当者に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。

② 大会参加中の事項

- ・こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒
- ・コート以外でのマスク着用
- ・大きな発声の自粛
- ・タオル・ドリンク類の共用をしない

③ 大会へ参加するにあたり J B A 作成の「健康チェックシート」を提出する。

4. 大会役員（審判員含む）

参加する大会役員は、上記 3. 参加する選手と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。

5. 試合観戦について

今大会は会場への入場を制限する。入場できる者は、大会役員、チーム関係者（選手、スタッフ）とする。エントリー外の選手については、各チームの判断とするが、感染予防の観点から必要最小限の人数となるよう、良識ある判断を求める。

応援に関しても、感染予防の観点から、集団でかけ声を出したり、歌を歌うようなものは禁止する。鳴り物についても同様とする。